一般質問項目

平成25年3月

1　東日本大震災の復興支援等について
2　災害時の道路復旧に向けた協議会について
3　宇高航路の存続要望について
4　当初予算案について
5　総合防災情報システムの再構築について
6　違法ドラッグ対策事業について
7　学力調査上位県への教員派遣等について
8　いじめの申告・相談窓口システムの構築について
9　PM2.5について
10　観光について

平成25年9月

1　情報通信技術の活用等について
2　少子化対策について
3　障害のある方への支援について
4　パラリンピックについて
5　マイボトルの普及について



全県版

岡山市長選 主な立候補者アンケート

LINEで情報発信

県議会 一般質問

知事「活用法を検討」

9月定例県議会は26日、一般質問を続行。高原俊彦（民主・県民クラブ、岡山市北区・加賀郡）、波多洋治（自民、同）、笹井茂智（公明、岡山市中区）、加藤浩久（自民、玉野市）の4氏が県政全般をただした。伊原木隆太知事は、スマートフォンなどの無料通信アプリ「LINE（ライン）」を活用し、県の情報発信を始めることを明らかにした。質問戦はこの日で終了、27日から委員会審議に入る。

加藤氏は、国内で4500万人以上が使う「LINE」を新たな広報手段とするよう提案。知事は「無料無時制やチャット（おしゃべり）のツールとして利用者が爆発的に増えており、活用方法の検討を進めたい」と述べた。県は10月に地方自治体向け公式アカウントを取得し、定住促進や観光客増につながる情報を登録者に「一斉配信」する。自治体は無料で利用でき、都道府県では京都、佐賀などが導入している。

高原氏は、県が保有するデータを県民や企業が利用可能な形で公開し、住民サービスの向上や産業振興に生かす「オープンデータ」の推進を要望。知事は「総合防災情報など県保有の207データについて、個人情報保護などに配慮しながらオープン化を検討した」とし、ニーズにあわせて個別に公開していく意向を示した。

笹井氏は、持続可能な農業を目指し、集落レベルで農地の集積や担い手確保策を盛り込む「一人・一農プラン」の作成状況をただした。佐藤一雄農林水産部長は「プラン作成済みは（県内農村集落の）44％に当たる）126地域で、そのうち（国交付金などを使い）地域、203・3ヘクタールの集積を進めるのは58地域。203・3ヘクタールの予定」と答えた。（藤岡慎吾、玉川貴広）

高原俊彦氏　波多洋治氏　笹井茂智氏　加藤浩久氏

新聞記事

▲平成25年9月27日 山陽新聞掲載

代表質問項目

平成25年12月

1　来年度予算編成等について
2　消費税率引き上げへの対応について
　（1）県内経済への影響等
　（2）経済対策
3　岡山県との連携について
　（1）問題点等
　（2）信頼関係の確立等
4　教育県岡山の復活について
　（1）リーダーシップの発揮等
　（2）学力定着状況の把握等
5　産業の振興について
　（1）企業誘致
　（2）ものづくり企業への支援
6　農業政策について
　（1）基本的な認識
　（2）市町村等への支援
7　県民の健康づくりについて
8　スポーツ競技力の向上について
　（1）インターハイ選手の育成強化
　（2）メダリストの養成等
9　外食メニューの虚偽表示について
10　県警察の諸課題について
　（1）女性警察官の登用等
　（2）特殊詐欺

一般質問議事録をお読み下さい。

【岡山県のホームページ】
http://www.pref.okayama.jp

【上の列の県議会をクリック】
http://www.pref.okayama.jp/shokyoku/gikai/gikai.htm

【会議録の検索をクリック】
http://giji.pref.okayama.jp/

【発言者で加藤浩久をクリック】

【検索実行】

かとう浩久
政務調査室

〒706-0011　岡山県玉野市宇野4丁目15番4号
TEL 0863-31-4846
FAX 0863-31-2156
かとう浩久 ホームページ http://rarigo.jp

発行責任者／谷口康則　発行所／玉野プリント株式会社

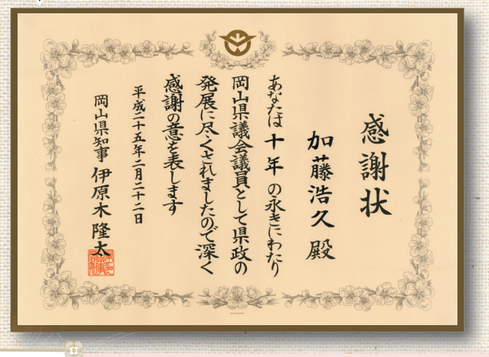
経歴
昭和37年1月12日生れ　52歳
玉野市立宇野小学校・宇野中学校卒業
昭和55年岡山県立玉野高校卒業
昭和60年慶應義塾大学法学部政治学科卒業
株式会社加藤商店入社（平成11年より代表取締役）
平成15年4月　岡山県議会議員　初当選
平成19年4月　岡山県議会議員　2期目当選
平成23年4月　岡山県議会議員　3期目当選
岡山県議会
　産業労働警察委員会委員長歴任
　地域振興・観光・金融・雇用対策特別委員会委員長歴任
　環境文化・保健福祉委員会委員長歴任
　子ども応援特別委員会委員長歴任
現在
自民党岡山県支部連合会
　副幹事長・総務委員・政務調査会委員
　財務委員会委員
岡山県議会
　総務委員会委員長・決算特別委員会委員

RARIGO NEWS

2014年 新春のつどい号　ラリゴニュース



▲勤続10年を迎え、表彰を受けました。



感謝状

加藤浩久 殿

あなたは十年の永きにわたり岡山県議会議員として県政の発展に尽くされましたので深く感謝の意を表します

平成二十五年二月二十二日

岡山県知事　伊原木隆太

企業の県外流出防止

設備更新支援策新設へ

県議会知事答弁

11月定例県議会は3日、本会議を再開。代表質問を行い、自民党の加藤浩久（玉野市、一民主・県民クラブの高原俊彦（岡山市北区・加賀郡）、公明党の山田総一郎（倉敷市・都窪郡）の3氏が県政全般をただした。伊原木隆太知事は、水島コンビナートなどの企業が県外へ流出しないよう設備の更新・増強への支援制度を新たに設ける考えを示した。

加藤氏は、新規企業の誘致とともに既存企業の引き留め策の重要性を指摘。知事は「県内で引き続き操業してもらうための優遇制度の充実や一層の規制緩和等を進める必要がある」と述べた。

県企業立地推進課によると、同コンビナートの79社のうち、51社が操業開始から40年以上を経過。近年の撤退事例はないが、設備の老朽化が課題となっている。各社が他県に構える工場に整理・統合される懸念があるため、2014年度導入に向け、県内で設備の更新・増強に取り組む企業に対し、補助制度などを検討している。

高原氏は、県内にある公共施設の耐震化の状況を質問した。

知事は多人数が利用する県立、市町村立施設（学校を含む）について「12年度末で18年度末までに100％耐震化できる見込み」とし、他の施設も市町村と連携して促進に努める」と説明した。

山田氏は、県が事業見直しの中で廃止方針とした木造住宅耐震改修と社会教育団体への補助金について今後の対応をただした。

知事は、耐震改修は受益者負担の観点へ、社会教育団体は他のNPOやボランティア団体との差別化が難しいことからの判断と説明した上で、「県議会や関係団体の意見を踏まえ、総合的に検討していきたい」と方針撤回に含みを残した。（藤岡慎吾、大島望）



加藤 浩久氏

▲平成25年12月4日 山陽新聞掲載

夢のある未来へ さらに進化 政策実現力。

新春を迎えるにあたり、東日本大震災の復興は道半ばであり、多くの自然災害等、被災なされた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、政務活動11年目にあたり、総務委員長・決算特別委員、自民党県連内では副幹事長・常任総務会委員・政務調査会委員等責任の重い役職を任ない、12月には党を代表し、代表質問者となり岡山県の決算状況をチェックし、その効果や反省点を新年度予算・補正予算に生かす施しを伊原木知事をはじめ各部局に求めて参りました。



さらには、玉野市体育協会会長に就任し、スポーツの振興と健康寿命の延伸、又、茶道等の発展により、文化の街づくりにも尽力して参りました。

本年もご指導・ご鞭撻を賜ります様伏してお願い申し上げ、新春のご挨拶といたします。

加藤浩久

●各種団体・各地域の皆さまと●

色々な行事に参加させていただきました。


岡山県体育協会


藤まつり


皇太子様お出迎え

岡山オープンティーボール大会





ライオンズクラブ講師として



岡山県身体障害者福祉連合会



東京玉野会


東京岡山県人会


宇野八幡宮節分祭



下水道ふれあいデー


淡交会の皆さんと



かとう浩久の足跡

かとう浩久政務活動11年目を迎えました。
大変多忙な毎日を過ごしておりますが、
その一生懸命な姿をピックアップいたしました。若輩ではありますが、
今年も力の限り走り続けます。

●視察・調査報告・等●

総務委員会県外調査 ～北海道～







総務委員会県内調査


岡山空港メガソーラー



和気町中山間対策事業











新春のつどい
平成 25 年 1 月 27 日　ダイヤモンド瀬戸内マリンホテル


経浩会ボウリング大会表彰式にて



経浩会ボウリング大会開会式


経浩会ゴルフ大会閉会式にて